

1 研究主題

「学ぶ楽しさを実感し、生き生きと学ぶ小野っ子の育成」
～ユニバーサルデザインを生かした授業づくり～

2 主題設定の理由

昨年度は、「主体的・対話的で深い学び」を念頭に置き、児童一人ひとりが問いを持ち、より主体的に考えていけるような課題設定の在り方やその課題に対し、人と関わる中で学び、考え、解決方法を見出していける主体的で協働的な授業づくりを目指して研修を行ってきた。特に、意欲的に学びに向かえる単元計画や「伝え、深める」ための効果的な教師の関わりなどに視点を置き、研究する中で一定の成果を得ることができた。しかし、学習につまずきがちな児童も多く在籍する中、すべての児童が主体的で協働的な学習が進められたかと言えば課題が残る。

すべての児童が、「やってみよう」「分かった」「できた」と感じられる授業を展開するには、学習環境の整備や学習方法の工夫等の授業のユニバーサルデザイン化をさらに進めることが必要である。このユニバーサルデザインの考え方は、今まで多くの教師が試行錯誤しながら取り組んできたことである。そこで、今年度は、今までのその姿勢を整理し、より効果的な方法を考え、ユニバーサルデザインの基本理念や手法を広め、実践につなげていきたい。学習につまずきがちな児童にとって、ユニバーサルデザインに基づく「分かる」「できる」授業は、一人一人の特性に応じた、様々な学び方が選べる授業となり、それ以外の子どもたちにとっても、学習の確かな理解と定着をもたらす。誰にとっても分かりやすく、学びやすい授業づくりをさらに推進することは、すべての子どもにとって授業場面での「満足感」や「達成感」を与え、学習意欲の増進につながると考える。

以上のことから、「ユニバーサルデザインを生かした授業づくり」をサブテーマとし、次のように研究の視点を設定する。

- ①授業における UD 化
- ②学習環境の UD 化

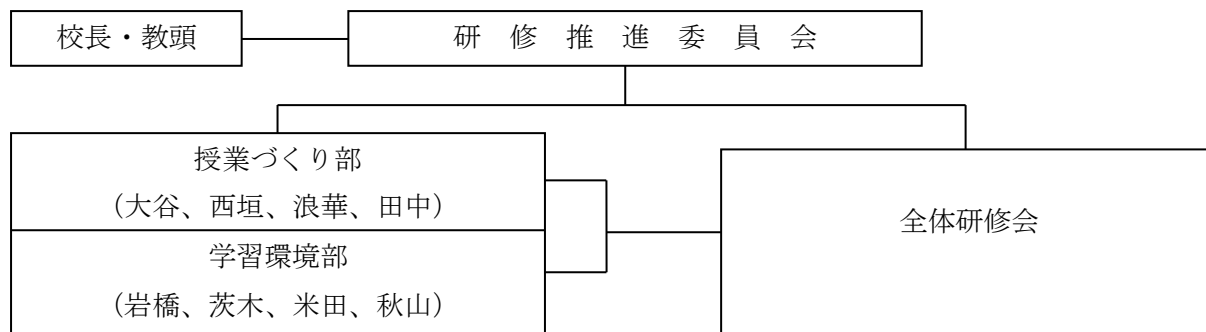
3 研究仮説

「ユニバーサルデザイン化を推進することで、すべての児童が主体的に学習に取り組むことができる」

4 実践手段

- ①研究授業の実施
 - ・研究授業事前検討会（学年部）
 - ・研究授業事後検討会（全体）
 - ・研究授業参観チェックシート（授業の UD 化、学習環境の UD 化）
- ②学級経営流会（年度初め・年度末）と児童理解（月 1 回：職員会議で実施）
- ③本校の課題研修
 - ・特別支援教育
 - ・人権・同和教育
 - ・総合的な学習時の時間のカリキュラム見直し
- ④研究の学びを残す
 - ・研究紀要の作成
 - ・研修内容の伝達

5 研修組織及び各部の役割



※研推委員会 第1・3火曜日

※部会

第2・4火曜日

※全体研修会は、毎週水曜日（職員会議日を除く）

※全体研修会の司会は研修部のメンバーが順番で実施、記録は研修部以外が順に行う。

※生活指導部による「にこにこ週間」、「睡眠アンケート」、「アセス」等のアンケートの取り組みとも連携する。

(1) 研修推進委員会

① 全体研修について

ア 研修計画、研修組織

イ 全体研修内容にかかわる計画

- ・人権・同和教育・総合・環境・福祉・体育・特別支援教育・情報教育・各校種間連携等の取り組みについての研修

ウ 全体研修の進行

② 授業研究について

事前・事後研究の計画

③ 学級経営交流会

④ 研修アンケートの作成

⑤ 紀要の計画

(2) 部会

① 授業づくり部

- ・授業のUD化の推進
- ・基礎タイムの内容の見直し・計画・実施
- ・読書をすすめる体制づくり
- ・集会がない金曜日の取り組み
- ・豊岡市運動タイムの取り組み
- ・研修成果について（児童のふりかえりをデータ化する）

② 学習環境部

- ・学習環境のUD化の推進（落ち着いて学習に取り組める環境づくり）
- ・話型の掲示
- ・学習のきまりの掲示